



2024 年 9 月 30 日

筑波ポジティブ・インパクト・ファイナンス 第 1 号案件の取り組みについて

筑波銀行（頭取 生田 雅彦）は、塚田建材株式会社（代表取締役 塚田 隆）と「筑波ポジティブ・インパクト・ファイナンス」（以下「筑波 P I F」という）の契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

筑波 P I F は、お客さまの事業活動が環境・社会・経済にもたらす影響（インパクト）を分析し、ポジティブなインパクトの向上とネガティブなインパクトの緩和に向けた取り組みを継続的に支援することを目的としたファイナンスです。

塚田建材株式会社は、自社の事業活動が環境・社会・経済に与えるインパクトを確認し、「環境にやさしい企業への成長」、「働きやすい職場づくり」、「住み続けられるまちづくり」の 3 つのテーマを特定しました。それぞれのテーマについて具体的な取り組みと重要業績評価指標（以下「K P I」という）を設け、K P I の達成に向けて取り組むことで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 契約の概要

契約日	2024 年 9 月 30 日（月）
融資金額	100 百万円
資金使途	運転資金

2. お客さまの概要

企 業 名	塚田建材株式会社
代 表 者	塚田 隆
所 在 地	茨城県下妻市
設 立	1976 年 2 月
資 本 金	70 百万円
事業内容	総合建設業他

3. インパクト評価の概要

側面	テーマ	取り組み内容	関連するSDGs
環境	環境にやさしい 企業への成長	・ GHG排出量の削減 ・ エネルギー利用の効率化	   
社会	働きやすい 職場づくり	・ ワークライフバランスの実現 ・ 労働環境の安全性向上 ・ 労働生産性の向上	 
経済	住み続けられる まちづくり	・ 従業員のスキルアップ ・ 事業活動を通じた地域経済の発展	   

本件は、筑波銀行が国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が策定したポジティブ・インパクト金融原則に基づきインパクト評価を行い、その適合性について外部評価機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）から、第三者意見を取得しております。

筑波銀行は、お客さまのサステナブル経営への伴走支援に取り組み、SDGsの目指す「持続的で多様性と包摂性のある社会」の実現に向けて、地域になくてはならない銀行として、地域社会の持続的発展に貢献してまいります。

以上

報道機関のお問合せ先
筑波銀行 総合企画部広報室
Tel 029-859-8111